

主なご意見（発言の一部を抜粋しております）

【豊地区（下宿、横町、宿、中宿、上宿、豊中央、青古新田、青木、青木住宅1、青木住宅2、中谷原住宅行政区（R6.12.1開催））】

番号	要望・課題	内容	回答者	回答	担当課	市民懇談会後の対応（1月末現在）
1	小貝川河川工事の計画や進行状況について	青木住宅は小貝川のすぐそばにあり、川の氾濫を心配している。特に、高齢者が増えているため、いざというときにどう避難すればよいか分からない。また、国土省の河川工事が現在行われているが、その計画や進行状況について情報が提供されておらず、詳細情報が欲しい。また、住民を対象とした避難訓練が行われていないため、訓練が必要ではないかと感じる。	都市建設部長	工事は、下館河川事務所で行っている。整備時期については、資料が手元にないで、後日お知らせしたい。	建設課	下館河川事務所藤代出張所より、今年度工事を請け負ったキムラ工業㈱の回覧資料をいただき、要望者に提供した。 また、長渡呂地区は今年度低水護岸を施工し、次年度以降高水敷整備、堤防整備という流れになることを説明した。
			総務部長	防災訓練については、今年は、谷和原地区、昨年は、福岡地区を対象に実施しており、区域ごとに順番に実施している。豊地区についても、間もなく順番となるので、その際は、ぜひ参加いただきたい。	防災課	
2	政策情報版、ふるさと納税について	政策情報版の配布方法、ふるさと納税で得られる実際の収入、そしてふるさと納税のために契約しているポータルサイトの数について教えていただきたい。	市長	政策情報版は広報紙と同様に個別にポストイングで配布している。配布漏れがあれば連絡してほしい。 また、ふるさと納税の収入は、事務手数料を差し引いても50%程度の収入がある。契約しているポータルサイトの数は約20サイトである。	秘書広報課	
3	ふるさと納税、マイナンバーカード、県道の工事について	ふるさと納税の返礼品にはどんなものがあるのか伺いたい。 また、マイナンバーカードによるコンビニでの住民票等の取得がとても便利だったので、今後もっと普及して欲しいと感じた。 最後に、これは市の担当の部分ではないが、50年前からの懸案である県道野田牛久線（中華坊主からセブンイレブン付近）の件である。歩道ができるのは、本当に良いことだと思っているが、この間県の説明会に行ったが、説明されたやり方では、地権者の方に相当な迷惑がかかるし、それもう少し対策を講じたかったら、かえって、事故が増えるような気がすると思った。県道なので、つくばみらい市がどうこうできる問題ではないと思うが、建設課の方も来ていたし、道路を1本つくって、一方通行にしたらどうかと思っている。何とか事故のない方法でやっていただきたい。	市長	1つ目の返礼品について、今主力は米になっている。返礼品については、品目で言うと1,000種類以上ある。返礼品は、サツマイモや農産物がある。あとは、工業製品もある。もし、こういったものがたくさん取れるとか、売れるというものがあれば、ご相談いただきたい。 マイナンバーカードについては、交付率が8割を超えている。コンビニ交付は、諸証明交付が年間4万3千件あるが、その4割ぐらいがコンビニ交付となっている。市役所でもコンビニ交付と同じような機械を置いているので、簡単に証明書交付ができる。ほとんどコンビニでの交付率を上げて、市役所まで行かずに、近所での交付を進めていけたらと考えている。	秘書広報課 市民窓口課 建設課	
			都市建設部長	県道の整備については令和6年1月に、地権者及び周辺住民を集めた説明会を土浦土木事務所が実施した。その中では、歩道整備に反対の声も多くいただいているようだが、歩道整備をしないと、道路の構造上、危険性が高まるので、土浦土木事務所では、地元の要望を元に、中華坊主脇の道路の抜け道や、セブンイレブン先の交差点周辺の設計を見直している段階という話を聞いている。また、令和7年1月か2月に再度、説明会を開いてもう一度、地元の方の了解を得たいといった話を聞いている。土浦土木事務所には、きちんと住民の方と協議をしてもらい、市からの要望なども継続していくので、いつでも建設課に相談いただければと思う。		
4	常総橋の段差について	常総橋の段差がひどいので、その補修を実施していただきたい。	都市建設部長	常総橋の段差については、土浦土木事務所に要望をしたいと思う。	建設課	令和7年1月23日（木）、土浦土木事務所道路管理課と打合せし、常総橋の段差修繕に関して、今年度中に施工するとの回答を得た。
5	病院の誘致について	つくばみらい市には、総合病院がない。高齢化が進んでおり、つくばまで行くのが大変なので、病院の誘致をしていただきたい。	市長	総合病院の誘致はかねてから要望がある。本市は、つくば医療圏に属しており、つくばみらい市、つくば市、常総市、この3市で構成されているが、医療圏ごとにベッド数に制限が設けられている。現在、つくば市には、茨城県内でも数多くの総合病院があるため、ベッド数上限に達している状況である。そのため、新設の病院をつくるのは、今のところできない状況である。しかし、つくば市にある病院がつくばみらい市に移転する方法であれば、可能性はゼロではない。その場合は市として歓迎する考えである。	健康増進課	